

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5 年 3 月 14 日

事業所名 障害児通所支援 第2ちゃーむ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100	0	パーソナルスペースが確保できるよう工夫している。	
	2	職員の配置数は適切である	100	0		人員配置基準を満たしているが、支援の質の向上のため職員確保に努めている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	80	20	構造化や視覚支援を取り入れている。	バリアフリー化はされているが、玄関から室内への入室の際にベビー柵があるため、車椅子でのスムーズな入室が難しい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100	0	空気清浄機の設置や空気の入れ替え、こまめな消毒等、感染症対策に気をつけている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100	0	月ごとに重点項目と評価を実施している。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100	0		保護者向け評価表の結果を踏まえ、業務改善に向け職員間で話し合いをしながら改善・検討している。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100	0	事業所に掲示し、ホームページでも公開している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	100		現在は行っていないが、前向きに検討していきたい。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100	0	必要に応じてカンファレンスや伝達研修を実施している。	質の向上に繋がる研修に参加していく。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100	0	アンケートやアセスメントを実施し、保護者の意向を踏まえ、職員で話し合いを行いながら計画を作成している。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100	0		標準化されたアセスメントツールを使用している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100	0		児童発達支援ガイドラインの中から、個々に必要な項目を選択し個別支援計画を作成、支援している。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100	0		児童発達支援計画に沿った支援を行っている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100	0	事業計画策定会議を行い、活動プログラムを検討している。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100	0	各種療法や行事を取り入れ、個別・集団活動等が固定化されないよう工夫している。実施曜日が分散するようにしている。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100	0	個別活動と集団活動での個々に応じた目標を設定し、発達段階に応じた計画を作成している。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100	0	日程表を作成し、確認を行っている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100	0	記録しながら振り返りを行い、職員間で情報共有し支援の方法や課題等について検討している。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100	0	行動の記録に加え、職員の対応も記録し、支援につなげている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100	0	毎月目標設定・評価を行い、半月に1回のモニタリングを実施している。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100	0	担当職員からも聞き取りを行っている。	児童発達支援管理責任者又は管理者が出席している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100	0		家族を通して情報交換をしたり、必要に応じて関係機関と連携を図っている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	80	20		職員が幼稚園の見学を実施した。また、サポートブックや就学支援シートで情報を共有している。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	80	20		入学前に支援学校での会議に出席し、支援内容について連携できるような情報共有を図った。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100	0		研修に参加し、スキルアップを図っている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	40	60	室外活動で、地域の公園へ行く機会を設けている。	近隣の施設や公園で触れ合う機会はあるが、新たに交流の場を設けるかは検討していきたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	80	20		積極的に参加するようしている。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100	0	連絡帳や保護者迎え時、場合によっては電話で伝えるようにしており、共通理解に努めている。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	80	20	固定化されたペアレントトレーニングは行っていないが、積極的にコミュニケーションをとっている。	ペアレントトレーニングを検討していきたい。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100	0	変更についてはその都度説明し、同意をいただいている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100	0		ガイドラインに基づいて支援計画を作成し、説明・同意をいただいている。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100	0	日頃から情報交換を行い、相談があった場合は速やかに応じている。	より相談しやすい環境を工夫していきたい。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	40	60		新型コロナウイルス感染症拡大のため実施できなかった。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100	0		権利擁護委員会を設置し、苦情があった場合は速やかに対応できるようにしている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100	0	月の行事予定表をお知らせしたり、ブログで日々の様子や行事について発信している。	法人の会報誌を年4回発行している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100	0	個人情報は外部に持ち出さず、シュレッター処理をしている。	個人情報同意書に記入していただいております、十分注意している。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100	0		定期的なアンケートや連絡帳にて情報共有に努めている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	40	60		企画はしていたが、新型コロナウイルス拡大のため中止となってしまった。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100	0	支援計画に記載して保護者に説明したり、玄関にマニュアル・ハザードマップを設置している。	マニュアルを作成し、定期的に訓練を実施している。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100	0	毎月定期的にいろいろな想定で避難訓練を実施している。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100	0		確認している。服薬については処方箋の提示を求めている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100	0	ホワイトボードを設置し、全員で確認できるようにしている。	契約時にアレルギーの確認を行っている。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100	0	危険を感じた出来事があった際には、ケース記録や指定のファイルに記録し、その都度会議を実施して対応策を周知している。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100	0	対応資料を設置し、周知している。	全職員で研修を受講し、虐待防止に対応している。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	80	20		重要事項説明書には記載・説明しているが、現在該当児がいないため計画には記載していない。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。